

第 21 回日本 LCA 学会研究発表会 企画セッション

地域特性を活かし価値を創造する再生可能エネルギー基盤社会への道筋

2026 年 3 月 3 日 武蔵野大学

セッションの概要

将来のカーボンニュートラル社会の達成に向け、エネルギー・産業システムの変革が求められています。本セッションでは最初に企画者側から、エネルギーシステムモデルと産業連関モデルをソフトリンクした定量的シナリオ分析手法について紹介します。次いでその手法を用い、異なる 2050 年脱炭素シナリオに基づき、エネルギー技術導入と地域経済の姿の変化を地域レベルでシミュレーションした結果を示します。これらの報告を土台として、日本全体のエネルギーシステムの費用効率的な脱炭素と地域経済システムの公正な移行を考慮したカーボンニュートラルへの道筋について議論するとともに、そのような将来社会の検討におけるシナリオ分析手法の可能性と限界について意見交換を行います。

セッションの構成

本セッションは、JST 社会シナリオ研究事業「地域特性を活かし価値を創造する再生可能エネルギー基盤社会への道筋」において得られた研究成果をベースにして、上述の趣旨を踏まえて、討論者を中心にフロアからのご意見も伺いながら、議論を深めたいと思います。

1. セッションの趣旨説明	本藤祐樹（横浜国立大学）
2. 研究成果報告	
将来社会を描き出す定量的シナリオアプローチ	本藤祐樹（横浜国立大学）
情報化による産業技術構造の変化を捉える	中野諭（日本福祉大学）
エネルギーシステムの姿を見通す	大槻貴司（横浜国立大学）
地域経済・産業の姿を見通す	森泉由恵（横浜国立大学）
3. パネル&フロアディスカッション	
想定論点 ・ 方法論： 将来社会システムを検討するためのアプローチやモデルに関して、それらの特長や限界、発展の方向性など ・ 現実社会への寄与： カーボンニュートラル実現に向けた政策立案におけるモデル分析結果の活用方法やその読み解き方、今後の研究課題など	討論者（五十音順） 近藤康之（早稲田大学） 原田幸明（サステナビリティ技術設計機構） 吉田好邦（東京大学）

JST 低炭素社会実現のための社会シナリオ研究事業

研究題目： 地域特性を活かし価値を創造する再エネ基盤社会への道筋

実施機関： 横浜国立大学、日本エネルギー経済研究所、産業技術総合研究所、中京大学、日本福祉大学

<http://www.hondo.ynu.ac.jp/JST/index.html>